

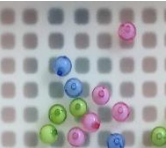


<p>【教材・教具名】 色の仕分け課題</p>	<p>【教科・領域】 自立活動、作業学習</p>
<p>【教材の使用材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビーズ、スパンコール ・ プラスチック容器、ビーズケース ・ 籠 ・ ピンセット 	 <p>(図1)</p>
<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 注視する力を高める。 ・ 協応動作の向上を図る。 ・ 持続力を高める。 ・ 正確に取り組む。 	
<p>○使用方法</p> <p>①プラスチック容器の中にビーズを入れ、ビーズケースに仕分けをする。</p> <p>②ビーズの色分けをする。</p> <p>* 課題に慣れたとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイマーを使用して時間内に仕分けを完了することを伝える。 ・ ピンセットを使って、課題に取り組む。 ・ 課題時間を短く設定し、時間内に取り組めるような解決策を一緒に考え、実践する。 	
<p>○工夫した所</p>	 <p>(図2)</p>  <p>(図3)</p>
<p>生徒の実態に合わせて教材の変更ができる。(以下の通り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図1のビーズは小さいものを使用したが、つかむことが難しいときは、大きい物にすることで、摘まむ（巧緻性の向上を狙う）ことができる。 ・ 図1のビーズの仕分けで慣れた時は、ピンセット（道具）を使い仕分けを行うことで、協応動作の強化を図ることができる。 ・ 図1のように生徒に渡し、課題の進め方が分からないときは質問する機会を設定することができる。 	
<p>○効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スパンコールなど形状の違う物を用意すると、更に難易度が上がり、プラスチック容器を持つなど工夫して取り組むようになってきた。 ・ 課題が難しいときなど、教師に相談する機会が増え、主体的に取り組めるようになってきた。 	